



信州の未来を創造する測量設計

目次

- 会長 年頭のあいさつ 1p
- 令和5年度協会活動 2p
- 協会・委員会活動について 18p
- 会員名簿 22p
- TOPICS & 編集後記 24p

会長 年頭のあいさつ



一般社団法人
長野県測量設計業協会
代表理事 佐藤 芳明

本年は、焦らず努力を続けて チャンスには一気に飛躍する!

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は当協会に対しまして格別のご支援を賜りました。行政機関をはじめとする関係各位に厚くお礼申し上げます。

協会も創立50年を超えました。今後はステップアップした事業を実施したいと考えています。コロナ感染症が第5類へ移行され、協会活動も4年ぶりに制限なく総会、賀詞交歓会が会員参加のなか開催をしました。また協会活動の柱である研修会、講習会が多く参加者のなか実施できました。活動に協力をいただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと台風の暴風雨により、県内の南部地域で被災し、地域の協会員が復旧に向け努力されました。復旧に携わった会員各位に感謝致します。毎年5月に実施し、350名を超える技術者が学んでいる「災害復旧事業技術者講習会」の重要性を近年特に感じております。今回は賛助会員の方々にも参加をいただき、講演をお願いすると共に、最新の測量機器の紹介、災害復旧関連のコンクリート製品の展示をいただき、新たな技術に触れることができました。

長野県では全国に先駆け、大学や先端技術を有する企業と連携し、BIM/CIM推進協議会を立ち上げ問題点を探るとともに、将来のあり方を検討しています。体制強化のため協議会内に部会と推進委員が設置され活動されています。

協会からも12名の部会員及び推進委員として参加をいただいています。さらにより具体的な課題を検討するための実務者会議も置かれました。その成果に期待をしているところであります。

さて、協会活動における重要課題は、若手技術者の確保、育成、有資格者の増員です。県のご指導、協力をいただきながら、技術系高校での三次元測量の校内研修、長野高専測量実習では実際の現場でのTS測量の授業の講師を行い、業界への入職をアピールしました。続けてきたことで会員数社に若手が入職しています。

また、就労促進事業とし活動している測量士、測量士補の受験事前講習会には、県内各地から65名を超える技術者の参加を得て実施できました。県内技術系高校からも12名の生徒の出席があり、会員と共に学んでもらいました。別の講習会では県の入札要件にもなっている地理空間情報専門技術講習会（写真測量B課程 I コース）及び同認定試験を（公社）日本測量協会の協力を得て松本市で実施し、46名を超える技術者の参加をいただいています。

協会では、本年もあらゆる機会を活用し、会員各位の現状を訴えながら、協会員の皆様とともに歩んで参ります。今後も私共は地域に生きる企業として責務を果たして参ります。信頼いただける組織としてこれまで以上に研鑽努力を重ねますので、一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます

末筆になりましたが、本年のご多幸をご祈念申し上げます。誠にありがとうございました。

北信支部活動

北信支部長 駒村 信夫

建設技術実践プロジェクト事業に伴う長野工業高等学校技術支援 ▶ 総務広報委員 吉田 敬一

【実施日】 令和5年6月19日（月）～ 10月16日（月）

【場 所】（一）裾花川右岸河川敷

北信支部では、本年度も長野県建設技術実践プロジェクト事業に伴う技術支援として長野建設事務所から依頼を受け、長野工業高等学校土木科3年の課題研究授業における「設計班」の測量分野の技術指導を行いました。本年度は、一級河川裾花川右岸長安橋上流200m区間の河川敷ウォーキングロード計画を目的とした路線測量を課題として6月19日から10月16日までの期間（全9回）で実施しました。



課題研究は、実践的な技術（業務遂行）の体験実習であるため、課題への取組みに先立ち「測量学」や通常授業で経験する「測量実習」で学んだことが実際の測量現場（業務としての測量）でどう実践されているか、また近年業務において導入が進む三次元測量について講義しました。

路線測量は、3名ずつの小班に分かれ既往基準点に基づきトータルステーションを用いた中心線（測点）及び横断方向点の設置測量、仮BM点を既知点としてレベルを用いた縦断測量、また横断測量では、各測点からトータルステーションを用いた間接測量を実施しました。現地作業では、各小班に指導員を置き、観測時の重要ポイントや作業の効率化のアドバイスをを行い、実際の測量現場での実践的な測量作業を体験してもらいました。横断図作成にあたっては、測量ソフトによる観測データのCADへの展開・編集、成果図面としての体裁（配置や記載すべき事項）を指導し、設計業務の基礎資料となる測量成果図面の作成を行いました。

生徒たちの頑張りもあってスムーズに作業が進み、予定していた課題を時間内に全て終了しました。最後に、技術者としての心構えや自己研鑽（資格取得等）について、これから巣立つ若手技術者に求めるもの、期待していることを総括としてお話し測量分野の技術指導を終了しました。



長野工業高等学校 業界説明会への講師派遣 ▶総務広報委員 吉田 敬一

【実施日】 令和5年10月31日（火）

【場 所】 長野工業高等学校

長野工業高等学校より「総合的な探究の時間」における業界説明の講師派遣依頼を受け、10月31日に土木科2年生に向けて測量設計業に関する説明を行いました。「業界説明会」は、土木に関する様々な業界の様子を知り、今後の就職や進学に向けての進路選択の参考となるよう実施されています。

測量設計業は、土木事業の「測量→設計→施工→維持管理」という流れのどの段階においても必要となる技術分野であり、社会資本整備を支える重要な役割を担っていることをお話ししました。地元企業は、道路や河川、砂防施設等の整備、また災害時の対応など測量・設計・調査の分野で地域に密着した業務を担っており、質問への回答を交えつつ自分たちの成果が地域（利用者）にどう受け入れられているかを肌で感じられる「やりがいのある仕事」

であることをアピールしました。

若手技術者たちが、我が業界（協会）の次世代を担っていくことを切に願うところです。



就労支援事業に伴う中野立志館高等学校測量実習（三次元点群測量講習会）▶総務広報委員 吉田 敬一

【実施日】 令和5年9月27日（水）

【場 所】 中野立志館高等学校

【参加生徒数】 21名

あいさつ 長野県北信建設事務所

課長補佐兼整備第三係長 柴本 一也

北信支部副支部長 伊藤 裕

講 師 株式会社伊藤測量設計

測量士補 大日方 唯之

測量士補 両角 颯人

【実習内容】

3次元処理ソフトを使用した実習及び解説

- ・三次元点群測量とは
- ・三次元点群測量での作業計画
- ・様々な三次元点群測量の手法
- ・三次元点群測量ワークフロー（内業）

- ・作成する各データの解説
- ・三次元点群データの活用例
フィルタリング実技実習
- ・フィルタリングのポイント
1班7人ほどで3班に分かれ、パソコンによりフィルタリングソフトを使用して実習を行いました。



災害初動調査研修会 ▶ 総務広報委員 吉田 敬一

【実施日】 令和5年6月9日（金）

【場 所】 長野合同庁舎 別館会議室

北信支部管内においては、過年度発生した災害協定発動の災害は、未だ発生していませんが、令和元年台風19号災害および近年の他支部における災害の際、初動調査における多くの課題が露呈しました。

初動調査の重要性を理解し、迅速に災害緊急調査ができるよう、長野県職員と合同による研修会を実施しました。

今回の研修では、県で構築した「災害情報共有システム」を利用して被災状況登録の研修とし、また、昨年度、長野建設事務所管内で発生した災害（道路・河川）箇所の資料（被災状況写真、位置図）を使って、「被災箇所内訳」への記入など実際を想定した研修を行いました。

出席者は、協会側：41名、県職員：16名、合計：57名と多くの方の参加となり、災害対応への関心の高さが窺える研修となりました。

技術管理室→現地機関 被災箇所調査（緊急調査）に係る通知

【災害時における災害緊急調査の実施フロー】

- 災害発生
- 【協定による被災箇所の判断目的】、【協定において災害が発生した場合】、【その場で発生した災害発生箇所の位置が把握】
- 被災箇所調査
- 被災箇所内訳
- 被災箇所調査結果報告
- 被災箇所内訳報告
- 被災箇所調査結果報告
- 被災箇所内訳報告

連絡先：技術管理室（長野県建設事務所）
 〒260-8501 長野県建設事務所 技術管理室
 〒260-8501 長野県建設事務所 技術管理室

冒頭、長野建設事務所整備課長、渡部様より過年度災害復旧活動への御礼と今後災害時の初動調査対応への協力をお願いがありました。

次に県の担当職員から研修の趣旨説明と災害発生後の初動対応についての説明がありました。



災害発生～被災状況調査～災害報告の流れ

- ①災害発生後速やかに対策本部設置（県）
- ②異常気象範囲の特定（雨量80mm/24h、異常出水など）
- ③災害協定に基づく協会への調査要請、パトロール班の構築
- ④被災状況調査
- ⑤災害状況取りまとめ
- ⑥河川課報告（発災後4日までに）



●災害情報共有システムの紹介と操作方法

災害発生時に情報共有の迅速化と円滑化を念頭に、現地情報の共有に役立つシステムの構築を目的とします。



●グループ研修

6グループに分かれてグループ研修実施。各グループに県職員2～3名が指導役として配置されました。



※イメージ

- 課題-1 「長野県災害情報共有システム」を利用して被災状況を登録
- 課題-2 「被害箇所内訳」に災害報告を記入

●総 評

最後に千曲建設事務所 整備課長 長澤様より、「災害は、発生しないことを望みますが、万が一不測の事態が発生した場合は、被災された人や財産に対して迅速な対応が望めます。県職員と共に協会会員企業の皆様のご尽力を是非お願いして、安心して暮らせる長野県となることを祈念します。」と挨拶があり、今年度の研修会を閉会しました。

今後も継続的な研修会の必要性を県職員と共感しました。

東信支部活動

東信支部長 小池 文人

「持続可能な測量設計業界にするためには」▶東信支部 清水 博志

【実施日】 令和5年9月19日（火）

【場 所】 上田合同庁舎6階 講堂

【協 力】 長野県建設部 上田・佐久建設事務所

現在、日本における人口減少は、様々な分野に影響を及ぼすことが想定されている、建設関連分野における就業人口の減少、激甚化する災害対応、インフラの老朽化など今後大きな問題となることが予想されます。このため東信支部は、県民の安全・安心な生活を支え県土インフラの整備を維持可能なものにするため、地域で従事する中堅職員が自由な意見交換を行い、双方のかかえる問題や課題などを共有することで問題・課題解決の糸口を見つけることを目的として研修会を行いました。

研修会

1. 開催方法

ワールドカフェ方式による意見交換会

2. テーマ

- 1) 業務について
- 2) 働き方について
- 3) 今後に向けて

3. 参加者

上田建設事務所 8名

佐久建設事務所 8名

測量設計業協会東信支部会員 30名

1) 業務（サブテーマ）

- ・生産性の向上（業務の効率化、システム化）
- ・品質の確保（照査・点検の方法、より良いものにするには）
- ・受発注者コミュニケーション（事業の目的を多面から協議する、間接業務の協働）

2) 働き方（サブテーマ）

- ・働きやすさ（労働環境の改善、就労時間、現場業務の工夫）
- ・やりがい（委託業務の重要性、地域の発展につながる業種専門的な技術職）

3) 今後に向けて（サブテーマ）

- ・業界の魅力（業界の地位の向上、体外へのアピール方法当業界を知らない人が多い）
- ・人材確保（やりがいと技術者の必要性をアピール）
- ・人材育成（社内勉強会や各種講習会で技術を学ぶ、各種資格取得により技術も学べる）



○意見交換

意見交換は、2のテーマに加えサブテーマを設け意見交換しました。

就労支援事業に伴う丸子修学館高等学校(三次元レーザー測量講習会) ▶ 東信支部 清水 博志

【実施日】 令和5年10月17日 (火)

【場 所】 丸子修学館高校

【参加生徒数】 2年生19名 (工業分野、土木測量)

【実習内容】

1. 野外学習 UAVレーザ・地上レーザスキャナーによる計測の流れと機械操作

UAVレーザ2機と地上レーザスキャナー 3台を準備し、4班に分けた生徒一人一人に機械操作方の説明をしたうえで、観測作業を行っていただきました。

特にUAVレーザについての仕組み、使用方法等に興味を示す受講生が多く、指導側としても精神誠意質問に対する説明を行いました。



2. 室内学習 データ整理、CADの操作手順の実習

受講生は、汎用のCADソフト使用方法や機能等を学んだ後、野外で取得した計測データの整理をしました。

その後、仕上がり後のイメージを意識しながら、協会員の指導を受けながら、簡単な図化作業を行い、一連の作業を終えました。受講した生徒を見ると、興味や反応はまちまちであるように感じられました。



中部横断道(山梨、静岡間)・河津七滝ループ橋・韮山反射炉現地研修 ▶ 東信支部 清水 博志

【実施日】 令和5年10月6日(金)・7日(土)

【研修地】 中部横断道(山梨、静岡間)、河津七滝ループ橋、
世界遺産「韮山反射炉」、山梨県立リニア見学
センター

研修を終えて

視察、研修地「中部横断道、河津七滝ループ橋、韮山反射炉、リニアモーターカー」の見学を通じ、今更ながら、技術立国としての日本国のものづくりの技術力の高さを感じました。また、天気にも恵まれ大変有意義な研修となりました。

1. 中部横断道

中部横断道 山梨・静岡間は、橋梁、高架橋、トンネルが主体の高速道路となっている。



中部横断自動車道(新清水JCT付近)

2. 河津七滝ループ橋

ループ橋正式名「七滝高架橋」は、1981年土木学会田中賞を受賞(720度を2回転)。



七滝高架橋

3. 韮山反射炉

2015年7月「明治日本の産業革命遺産」としてユネスコの世界遺産に登録されました。



国指定史跡韮山反射炉

4. 山梨県立リニア見学センター

2027年に東京～名古屋間の開業を目指すリニアモーターカー方式の新幹線車両等を見学しました。早く最高速度505km/hを体験したいと思います。



5. 清水の次郎長像

本名「山本 長五郎」

幕末の侠客で、「海道一の大親分」として小説、時代劇、浪曲などでもおなじみの人物です。



中信支部活動

中信支部長 坪井 利幸

建設技術実践プロジェクト事業に伴う南安曇農業高等学校技術支援 ▶ 中信支部 谷本 直樹

～「建設技術実践プロジェクト事業」（旧「自分たちでつくろうプロジェクト」）～

【実施日】令和5年6月23日（金）・30日（金）、7月7日（金）

【場 所】南安曇農業高等学校

【参加生徒数】33名（3年生）

令和5年6月23日・30日、7月7日の3日間にわたり、南安曇農業高等学校で3年生33名を対象とした授業の一環として測量設計の実習を行いました。

【実習内容】

- ①TS地形測量、縦横断測量実習
- ②測量ソフトによる座標計算、CADを用いた測量図作成
- ③CADを用いた歩道設計実習（平面図、縦断図、標準横断図）



測量ソフトによる室内実習

また、生徒の関心が高いドローンの説明と実際にドローンを飛行させ、上空から講習に参加した生徒の皆さんの撮影も行いました。



TS測量屋外実習

講師からTSの説明と操作方法を学んでから校舎内の敷地に造る「交流広場」予定地の地形、縦横断測量を行いました。その測量データを元にCADで測量図を作成、その測量図に交流広場の設計を行いました。



ドローンによる空撮

就労支援事業に伴う南安曇農業高等学校測量実習 ▶ 中信支部 谷本 直樹

【実施日】 令和5年9月14日（木）

【場 所】 南安曇農業高等学校

【参加生徒数】 39名（2年生）

令和5年9月14日に南安曇農業高等学校講習会南安曇農業高校環境クリエイティブ科2年生の生徒39名を対象に測量講習会を行いました。この講習会は測量実務に関する室内講義と現場実習を通じ、測量の実務内容や最新測量機器の取り扱い方法等を習得してもらうことを目的として開催しています。

【実習内容】

- ①GNSS測量
- ②路線測量
- ③平板測量



GNSS測量室内講習（鵬会館）



GNSS測量屋外実習



平板測量実習

今回は21名の中信支部会員が講師となり、GNSS測量や路線測量、平板測量などの技術指導の他、ドローンのデモフライトなども実施しました。



ドローンデモフライト

今回の経験を通じて、将来の進路を決める時の選択肢のひとつになるように、次世代を担う測量技術者がこの生徒の中から多く育ってくれることを願います。

長野工業高等専門学校測量実習支援事業（先端測量技術講習） ▶ 中信支部 谷本 直樹

【実施日】 令和5年11月9日（木）

【場 所】 安曇野市万水川（高瀬川合流付近：三角島）

【参加学生】 38名（環境都市工学科3年生）

この講習会は、長野県と長野高専の包括協定に基づき実施したもので、長野県安曇野建設事務所、安曇野市、土木・環境しなの技術支援センターとの共催で中信支部の技術者が測量調査の技術を学生に直接指導しました。

土木工学を学ぶ学生たちが現場での測量や調査などの専門技術を学び、将来の就職を考える機会を持ってもらうことも目的としています。

【支援事業概要】

- ・土木構造物等の形状を現地で測量して確認する。
- ・測量に基づく図面、成果を作成し、形状などから施設などの特徴や役割を学ぶ。
- ・施設の機能などについて学習を行い、調査報告書を作成し地域への説明などの活動に使用する。

【測量実習】

さわやかな秋晴れの中、中信支部の会員の皆さんに準備いただいた安曇野市の万水川合流地点（三角島）で今年も長野高専の測量実習が行われました。

こねこねハウスで開催された開講式では、当協会の吉竹副会長から「今日の実習は、長野県測量設計業協会の技術者がつきっきりで最先端の機器を用いて指導するので、普段の授業では体験できない貴重な経験になると思います。技術を習得するとともに『三角島ふるさとの森プロジェクト』についての座学もあるようですから地域の歴史も学んでください。今日の体験が皆さんの将来を考えるうえで大きな機会になればいいと考えます。」と挨拶がありました。

講習では、三角島の環境保全を目的とした取り組みを紹介後、小林安曇野建設事務所長より万水川の改修工事の経緯について説明がされました。

その後、6班に分かれ高瀬川合流付近の三角島に移動し、測量協会や建設事務所、市の指導を受けながら、測量実習を行いました。

【講習会の概要】

- ・万水川 縦横断測量、TS測量
- ・三角島 UAV測量、バックパックレーザー測量
- ・万水川 流量観測



室内講習



TS測量実習



流量観測調査実習



UVALレーザー測量講習

学生から積極的に質問を受け、講師が懇切丁寧に回答する様子も随所に見られ、学生の意識の高さを知ることができました。このような若い技術者が一人でも多く会員の企業に就職し、私たちと一緒に信州の未来のために活躍してくれることを切に願います。



質問&説明の様子

今回の作業結果は、学校授業で専門学習などを行い、報告書にまとめる予定です。どんな報告書が完成するか楽しみです!!

土木の日防災と建設イベント(安曇野ぼうけんフェスタ 2023)への参加 ▶ 中信支部 谷本 直樹

【実施日】 令和5年11月18日(土)

【場 所】 長野県安曇野庁舎

土木学会が提唱する土木の日11月18日に河川砂防等の防災インフラのPR、防災に関するソフト対策及び防災インフラを整備する建設産業の取組みや役割の周知を通じて、防災事業に対する理解促進及び防災意識の向上、建設産業の就業促進を目的として開催された安曇野建設事務所主管のイベントに参加しました。



ネットワーク型RTKを用いた宝探しゲーム



ぼうけんフェスタパンフレット

南信支部活動

南信支部長 福澤 浩

南信地域の長野県4建設事務所との意見交換会 ▶南信支部 小林 佳人

【実施日】 令和5年11月30日（木）

【場 所】 諏訪市 ホテル紅や

南信支部恒例の南信4事務所の所長・整備課長をお招きして各事務所の事業内容の説明と、業務に関する問題点を議論する意見交換会を今年も開催しました。

【検討議題】

1. 委託業務について、若手技術者や女性技術者を配置する場合に評価
2. 3D測量・設計業務の積極的な発注

今回は、上記の若手技術者や女性技術者を配置することに評価を与えてみてはどうか、また、多くの会員企業が3次元測量、3次元設計に対して投資を行っていることから、今後はこのような業務委託を積極的に発注していただきたいなどを中心に議論が交わされました。

ちょうど県内でコロナ感染者が増加した時期だったため残念ながら懇親会は中止となりましたが、非常に内容の濃い意見交換ができたと感じました。



就労支援事業に伴う富士見高等学校測量実習 ▶南信支部 小林 佳人

【実施日】 令和5年7月3日（月）

【場 所】 富士見高等学校

【参加生徒数】 11名（2年生）

例年通り富士見高校2年生の測量実習を実施しました。人数は11名と少し少なめでした。

【実習内容】

- ・ UAVレーザー測量と点群データについて
- ・ TS測量実習
- ・ TS測量計測値と三斜計測値について

UAVレーザーの実演と、事前に現場の杭を自分たちで計測して3斜により面積を求めてあった杭位置をトータルステーションで観測し、面積を比較してみました。

生徒たちは興味深そうに計算結果を見せ合っていました。





座学では、UAVで撮影した校舎の写真から3Dの点群データを作成し、なぜ写真から点群データが出来上がるのか簡単な説明をしました。

最後に一人一人から実習の感想を発表することになり、「測量・設計という世界を知らなかったけど興味がわきました。」と感想を語ってくれた生徒もいました。確実に成果がありました。



就労支援事業に伴う上伊那農業高等学校測量実習（最新測量技術）▶南信支部 小林 佳人

【実施日】 令和5年10月26日（木）

【場 所】 上伊那農業高等学校

【参加生徒数】 11名（2年生）

当該事業は、当協会として長野県建設部建設政策課に全面的に協力して、次世代を担う建設技術者の育成のための講習を行ってきたものです。

今回の上伊那農業高校での講座は、建設系高校生の就労促進の取組みとして、当協会が担当する調査・測量・設計部門において測量業務に特化して技術講習を行いました。

測量・設計業務の概要、最新測量機器の説明と取り扱い方を中心に講義を行い、建設系高校生の測量設計業への就労拡大に結び付けることを目的としています。

【実習内容】

- ・ 測量設計業について
- ・ TS測量実習
- ・ デジタルレベル測量実習

- ・ VRS-RTKによるGNSS観測
- ・ 地上型レーザー測量
- ・ UAVデモと操作体験

午前中は、座学で測量設計業という仕事はどんな仕事なのかについて概略説明と水準測量の計算実習や各観測に使用する三角関数の演算を行いました。



その後、レベルやトータルステーションの取り扱い方について、それぞれの機器の説明を受けて実習作業に入りました。

実習ではトータルステーションによる多角測量、デジタルレベルによる水準測量、VRS-RTKによるGNSS観測、地上型レーザースキャナーの観測を実習しました。



最後に、UAVの飛行状況の見学と希望者が実際に操縦をしてみました。

実際にUAVの操作をしてみた女子生徒は「全然知らない世界だったのにむっちゃ興味わきました。面白そうな仕事だと感じました。」と興奮気味に答えていました。



下伊那土木振興会「道路講演会」▶南信支部 小林 佳人

【実施日】 令和5年10月27日（金）

【場 所】 飯田市シルクホテル

下伊那土木振興会では毎年、「道路」と「砂防」を入れ替えて講演会を初秋に開催しており、今年は「道路講演会」でした。この事業は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部も後援している事業であり、会員企業からは約40名の出席がありました。

【講演内容】

(1)『インフラ老朽化の現状と課題について』

国土交通省道路局 官房審議官 長谷川 朋弘 氏

(2)『しあわせ信州を目指して』

長野県 建設部長 新田 恭士 氏

(3)『本四高速の取り組み』

～長大橋の保全技術開発と技術支援～

本州四国連絡高速道路株式会社

四連絡高速道路(株) 技術部長 森山 彰 氏

今年の演題は、道路行政等に携わる専門分野の講師の皆さまをお迎えし、南信地域の道路の現状と、これからの道路メンテナンスについて考える機会と捉え、道路事業に関係する多くの市民対象とした道路講演会となりました。

飯田、伊那、諏訪の3建設事務所若手技術者との技術交流会 ▶南信支部 小林 佳人

【実施日】 令和5年11月14日（火）

【場 所】 伊那市公民館

コロナ禍で中止していた活動がやっと再開できました。この事業は、発注者の技術パートナーとして、発注者である長野県建設部若手職員と（一社）長野県測量設計業協会会員企業の若手技術者が日ごろから交流を持ち、合同技術研修を行い業務上の問題点の抽出と解決策を模索する目的で開催されてきた企画です。

今年は、伊那市公民館で開催されました。飯田、伊那、諏訪の各建設事務所から7名ずつ、（一社）長野県測量設計業協会会員企業からは各社1名が参加しました。

まず、会員企業から「3次元測量について」、「3次元設計業務の事例紹介」が行われ、その後7グループに分かれて意見交換会が行われました。

若手の技術者同士が発注者・受注者の枠を超えてパートナーとしての議論をしている様子でした。最後に伊那建設事務所矢口整備課長より、「工事の研修は発注者と受注者合同で何度か行ってきたが、測量・調査の合同研修は無かった。3Dの点群測量や3D設計についての研修と意見交換会の機会は是非今後も継続して、受注者・発注者が阿吽の呼吸で業務を遂行できるようにしてほしい。」と総評いただきました。



懇親会は近隣のレストランにて会費制で行われました。意見交換会の時間が短く十分議論できなかった事柄についてさらに深く議論している様子でした。

次回からの委託業の際には今まで以上に“密”に連絡を取りながら、スムーズに業務が進むものと確信しました。南信支部では今後も継続して開催してゆく予定です。

建設技術実践プロジェクト事業に伴う飯田OIDE長姫高等学校技術支援 ▶南信支部 小林 佳人

～「建設技術実践プロジェクト事業」(旧「自分たちでつくろうプロジェクト」)～

【実施日】令和5年9月1日(金)

【場 所】飯田OIDE長姫高等学校

【参加生徒数】6名(3年生)

【P J概要】

今年度も9月1日に建設技術実践プロジェクトへ参加いたしました。この事業は平成29年より続いており7年目となります。全体計画から始まり現在ではランニングロードを設置しています。



今年度は階段部分の測量と15m分のランニングロードの施工を行いました。

しかし3年生が6名と少なく作業がなかなか進まないという事もありましたが、先生や建設業協会の協力もあり、無事に終わることができました。



就労支援事業に伴う飯田OIDE長姫高等学校測量実習 ▶南信支部 小林 佳人

【実施日】令和5年11月14日(火)

【場 所】飯田OIDE長姫高等学校

【参加生徒】3年生

今年度も11月14日に飯田OIDE長姫高等学校3年生を対象に測量実習を実施しました。

飯田地区の会員企業に多くのOBが在籍する飯田OIDE長姫高校の測量実習は、当初OBが後輩のために実習に協力する形で始まりました。

現在は、(一社)長野県測量設計業協会南信支部飯田地区の会員企業が実習に協力しています。

GNSSを用いた衛星測位システムの体験や、UAVを用いた空中からのレーザー測量を体験して、測量業界に興味津々といった感じです。

来年度も多くの若手職員が、飯田OIDE長姫高校から飯田地区の各社に入社してくれることを期待します。



協会・委員会活動について

第54回通常総会 総務広報委員会

第54回通常総会は、令和5年5月17日（水）に、ホテル国際21「千歳の間」で、59名（委任状提出者10名）の会員にご出席いただき開催しました。

令和元年以来となる通常の対面による開催で行い、全ての議案を承認いただきました。

議事終了後、ご来賓の当協会顧問で長野県議会議員の萩原 清様、長野国道事務所長の小澤 知幸様、千曲川河川事務所長の中根 達人様及び長野県建設部次長の小松誠司様よりご祝辞をいただき、無事総会が終了しました。

議 事

1. 令和4年度 事業及び収支決算報告並びに貸借対照表（案）、正味財産増減額計算表（案）承認及び監査報告（第1号議案）
2. 令和5年度 事業計画及び収支予算報告（第2号議案）
3. 令和5年度 会費賦課、入会金及び役員報酬の3案の承認（第3号議案）



（一社）長野県測量設計業協会 佐藤会長



長野国道事務所 小澤所長



千曲川河川事務所 中根所長



長野県建設部 小松次長

懇親会

総会に引き続き、懇親会も開催しました。

はじめに、長野県知事の阿部 守一様のお祝いメッセージを長野県建設部次長の小松誠司様に代読いただき、顧問の萩原 清様の乾杯により宴が開始となりました。会員の中には数年以来の対面となる諸氏もおられ、和やかな雰囲気の中で会員相互の親交を深めることができました。



協会顧問 萩原長野県議会議員



しあわせ信州

長野県
Nagano Prefectural Government

一般社団法人 長野県測量設計家協会
会長 佐藤 芳明 様

一般社団法人 長野県測量設計家協会 令和5年度通常総会が盛大に開催されましたこと心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、佐藤会長をはじめ会員の皆様方の測量設計における優れた技術力と確かな品質により、日頃から長野県の建設行政をはじめとする県政の推進に多大なる御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、県民の皆様方の安全・安心な暮らしや、まちづくりを支える社会資本の着実な整備だけでなく、災害発生時に迅速に現場に駆けつけ、被害状況の調査・復旧に御尽力いただいております。深く敬意を表するとともに改めて感謝申し上げます。

さて、気候危機とそれに伴う災害の激甚化・頻発化、急激な少子化・人口減少とそれに伴う産業や地域の人手不足など、かつてない危機的な状況に直面する中、本年度、県では新たな総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン30」をスタートさせました。

本計画は、「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」を基本目標としており、新しい時代を切り拓いていくため、社会経済システムの大胆な変革に挑戦し、真にゆたかな社会を信州から創っていくという強い想いを込めています。

「確かな暮らしを守る」ための地球環境の保全や災害に強いまちづくり、社会的なインフラの維持発展や、「ゆたかな社会をつくる」ための快適な都市空間づくりなどを推し進めていくためには、皆様の卓越した技術力が不可欠であり、引き続き大きな役割を担っていただく必要があります。

また、担い手不足が顕著な建設産業においては、担い手確保・育成や働き方改革を進め、生産性向上を図るための様々な施策が求められています。

皆様には建設産業全体の牽引役として、県民の暮らしを支える社会資本整備を着実に推進するとともに、建設産業がやりがいと魅力ある職場となるよう、引き続き一層の御支援、御協力を賜りますことをお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と、本日ご出席の皆様のご健康、ご活躍を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

令和5年5月17日

長野県知事 阿部 守一

人材確保研修会 総務広報委員会

～ SNSを活用した若者へのアプローチ ～

新卒者採用に苦戦が続く中、新たな手法で新卒者の獲得に繋げている企業があります。それら企業に取り入れている手法である、新たな若者へのアプローチとして令和5年6月30日に長野市のトイゴでSNSを活用した就活戦略の研修会を企画、開催しました。

研修会は、3部構成とし1部2部は外部の講師、3部は賛助会員にご担当いただきました。講師には、業界の企業経営や広報の専門家の方々をお迎えし、幅広い視点からの情報と具体的なアドバイスをいただきました。

講習は、SNS（TikTok、YouTube）を使った若者へのアプローチの仕方や、若者の動向の分析、若者がアクセスする情報入手先やスマホ等の活用方法などを学んでいただきました。



受講者の中にはTikTokが斬新過ぎて戸惑う方も見られましたが、SNSに慣れ親しんでいる若手社員は、日頃から常用していますので、この研修で学んだアプローチ方法と各社の若手社員の力を借りて、一人でも多くの新卒者の獲得に繋げてほしいものです。



測量士・測量士補受験事前講習会 技術委員会

今年も3月18日及び19日に長野市で、4月15日及び16日に伊那市で「測量士・測量士補受験事前講習会」を実施しました。

講師は例年お願いしている東海工業専門学校金山校の成田先生と宮口先生にお越しいただき、過去問題を中心に準則に基づいた受験対策講座を実施しました。

長野会場は、測量士25名、測量士補9名、飯田会場は測量士37名、測量士補23名が参加しました。

また、昨年に引き続き高校生の就労促進事業として、測量士補の講習には、長野工業高校の生徒6名、OIDE長姫高校の生徒5名が参加しました。

今年は例年に増して厳しすぎる結果となってしまいましたが、継続して受験し、良い結果が出るよう協会としてしっかりサポートしたいと思います。

災害復旧事業技術者講習会 技術委員会

今年の災害復旧事業技術講習会も新型コロナ対策を十分に徹底し、5月26日にザ・ハーモニーホール（松本市）で、協会員372名、建コン7名、会員外22名の参加を得て、感染者等の発生はなく無事開催できました。

【演題及び講師】

1. 公共土木施設災害復旧に係る設計上の留意点について
講師：長野県建設部河川課 木村 直人 様
2. 山地災害に対する取り組みについて
講師：長野県森林づくり推進課 山田 直紀 様
3. 関東地方整備局の防災対策の取り組みについて
講師：関東地方整備局 災害対策マネジメント室
室長 高橋 哲 様
4. 黒沢川調節池造成工事における3次元データの活用と課題について
講師：松本土建(株) 土木事業部 宮川 清充 様、
折井 信一 様

5. 災害復旧の調査・設計における最近の動向について

1) 防災・減災における「SLAM技術」を活用した計測について

講師：株式会社 いたう システム事業部 清水 晃治 様

2) 災害復旧の設計業務における最近の動向について

講師：株式会社 高見澤

コンクリート事業部 齊藤 雄次 様

3) 災害現場で起こりうるリスクとその備えについて

講師：株式会社 ちとせ保険事務所

営業課 塚川 朋代 様

例年は、労働災害防止対策についての講演を1コマお願いしていましたが、賛助会員企業にお願いしてそれぞれ各社の得意とする分野について話題を提供していただきました。

また、高見澤コンクリート様には駐車場に2次製品の現物を展示していただき災害復旧に役立つNETISの製品の説明もいただきました。

今後も現場に即した災害技術講習会が開催されることを期待します。



地理空間情報専門技術講習会及び同認定試験(写真測量B課程Iコース)技術委員会

長野県発注のUSV測量の要件として写真測量の知識が必要であることに対応するため、技術委員会が(公社)日本測量協会に依頼して、(一社)長野県測量設計業協会独自の開催企画が今年も開催されました。

会場は松本会場のみで7月10日～14日の5日間に及び対面方式で46名の受講者が講師より講義を受けました。

長野県が発注する業務の受注に関係する講義であり、今後の受注獲得に直結する必要な資格であるため、参加者は真剣な面持ちで受講・受検しました。

委員会活動報告 危機管理委員会

危機管理委員会の実施計画として、県の出先機関と合同で「災害初動調査研修会」を各支部で開催することにしており、令和3年に東信支部で開催された後、今年度は6月に北信支部で開催しました。中信・南信支部は、開催に向けて調整しています。

委員会の新たな取り組みとして、長野県の「防災訓練」へ協会として参加できるよう、県の危機管理防災課と事前打合せを行い、その結果、令和6年度に参加することが決まりました。

令和5年9月1日運用開始となった「改正災対法施行令」に伴い、既に締結している「長野国道事務所との無人航空機による災害応急対策活動に関する協定」での緊急通行車両の標章等が災害発生前に交付を受けることができるようになりました。県警察本部に伺い、会員参加企業の説明と今後の申請方法について打合せを行いました。



地域を支える調査・設計検討会議危機管理分科会が8月に開催され、この中で、今年6月に発生した豪雨時における連絡系統の課題が提起され、今後改善を図るよう対応することになりました。また、総合評価落札方式での災害協定締結者へのインセンティブの付与と合わせ、災害発生時の既受注業務への配慮についてもお願いしました。

会 員 名 簿

支部	会員名 (代表者名)	所在地	電話番号 / FAX E-mail
北信支部 (18社)	(株)伊藤測量設計 伊藤 裕 (副支部長)	〒380-0928 長野市若里3丁目10-10	TEL.026 (254) 7154 FAX.026 (254) 7169 ito-suv@vmail.plala.or.jp
	(株)内田測量 内田 哲郎	〒388-8004 長野市篠ノ井会13-3	TEL.026 (292) 0539 FAX.026 (292) 8181 uchida.s@vesta.ocn.ne.jp
	(有)エヌ・テック 中沢 清光	〒381-0006 長野市富竹113	TEL.026 (217) 2957 FAX.026 (266) 0827 ntec@coral.ocn.ne.jp
	環境都市設計(株) 岡田 すが子 (伴野 節男) (危機管理委員)	〒380-0815 長野市大字鶴賀田町2396-1	TEL.026 (238) 2368 FAX.026 (238) 2369 eud@eud.co.jp
	(株)共栄測量設計社 松林 直人	〒381-0012 長野市大字柳原344-3	TEL.026 (243) 5549 FAX.026 (243) 5965 yamamoto-y@kyoei-sv.net
	(株)協同測量社 吉田 敬一 (総務広報副委員長)	〒380-8577 長野市安茂里671	TEL.026 (226) 5691 FAX.026 (228) 8858 KYODO@kyo-soku.co.jp
	黒田整地開発(株) 黒田 博	〒381-0012 長野市柳原1494-7	TEL.026 (217) 2776 FAX.026 (252) 5228 h-hilow10@silk.plala.or.jp
	国土監理(株) 安藤 達也 (副支部長)	長〒381-0025 野市大字北長池1756-1	TEL.026 (263) 0656 FAX.026 (263) 1390 kokudost@k-kanri.co.jp
	(株)国土設計 駒村 信夫 (理事兼支部長)	〒380-0912 長野市稲葉日詰沖1783-1	TEL.026 (221) 4330 FAX.026 (221) 8991 kokudo-s@kokudo-s.co.jp
	(株)サン環境計画 武田 和幸 (宮島 邦彦) (理事兼危機管理委員長)	〒380-0921 長野市大字栗田653-53	TEL.026 (217) 4220 FAX.026 (217) 4228 info@sunkankyo.co.jp
	三共技研(株) 村澤 修二	〒381-0043 長野市吉田2-4-37	TEL.026 (243) 8822 FAX.026 (243) 0329 info@sankyo-gk.jp
	(有)須高測量 上原 康夫	〒382-0025 須坂市大字豊丘4-2	TEL.026 (248) 1241 FAX.026 (248) 8735 s_survey@avis.ne.jp
	(有)測地 島田 正敏	〒387-0001 千曲市大字雨宮1516-2	TEL.026 (272) 6577 FAX.026 (272) 5585 sokuchi@alto.ocn.ne.jp
	(株)中央測量 浦野 泉	〒389-2253 飯山市飯山1108	TEL.0269 (62) 4177 FAX.0269 (62) 2261 i-urano@chuo-survey.com
	(有)長測技術 小林 善治	〒380-8008 長野市合戦場2丁目137-4	TEL.026 (292) 7838 FAX.026 (292) 7839 chousoku@mx1.avis.ne.jp
	長野技研コンサルタント(株) 臼田 裕一 (技術委員)	〒381-2204 長野市真島町真島1292	TEL.026 (283) 2304 FAX.026 (283) 2305 ngckk@avis.ne.jp
	(有)中村測量設計事務所 中村 利通	〒380-0943 長野市大字安茂里1823	TEL.026 (226) 7033 FAX.026 (226) 8033 naka-s-n@mx1.avis.ne.jp
	(有)山本測量 山本 洋輔	〒381-2405 長野市信州新町新町1377	TEL.026 (262) 2831 FAX.026 (262) 2853 yosuke@yamasoku.com
東信支部 (12社)	(株)アクロス 市川 友一 (市川 九一) (副支部長)	〒385-0052 佐久市原138-12	TEL.0267 (64) 8550 FAX.0267 (64) 8551 across@cpost.plala.or.jp
	(株)浅間エンジニアリング 小間沢 晃	〒385-0051 佐久市大字中込3764-1	TEL.0267 (62) 8261 FAX.0267 (62) 1822 asama-eg@sas.janis.or.jp
	(有)イー・ティー・シー企画 清水 博志 (総務広報委員)	〒384-0304 佐久市北川525-11	TEL.0267 (82) 6698 FAX.0267 (82) 6761 etc@rose.ocn.ne.jp
	(株)総和コンサル 清水 祐一	〒385-0016 佐久市大字鳴瀬1131-1	TEL.0267 (68) 4788 FAX.0267 (68) 5133 souwa@lily.ocn.ne.jp
	(有)タイム社 福島 敬和 (危機管理副委員長)	〒385-0011 佐久市猿久保127-6	TEL.0267 (66) 0039 FAX.0267 (66) 0029 info@time-inc.jp
	(株)タイヨーエンジニア 佐藤 芳明 (会長)	〒389-0512 東御市滋野乙1302	TEL.0268 (62) 1700 FAX.0268 (62) 2721 sato@taiyoeng.co.jp
	日測設計(株) 山本 元栄 (技術副委員長)	〒384-0016 小諸市八幡町1-4-16	TEL.0267 (23) 6001 FAX.0267 (25) 5842 yamamoto@nissoku.com
	(株)フジ技研 井出 一彦 (監事)	〒386-0002 上田市住吉104-1	TEL.0268 (25) 1047 FAX.0268 (25) 5563 fujigkn@fgnetwork.co.jp
	(株)みすず総合コンサルタント 増沢 宗	〒386-1102 上田市上田原1073-4	TEL.0268 (24) 8230 FAX.0268 (24) 8353 msc06@e-misuzu.com
	(株)モテキ 小池 文人 (理事兼支部長兼総務広報委員長)	〒385-0051 佐久市大字中込3421-50	TEL.0267 (62) 7701 FAX.0267 (62) 6459 info@k-moteki.com
	(株)ユーアール測量設計 川上 陽次郎	〒384-0027 小諸市六供1-3-17	TEL.0267 (22) 8841 FAX.0267 (22) 2856 ur-sv@ctknet.ne.jp
	(有)ワイエムテック 木内 政彦	〒385-0061 佐久市伴野1639-21	TEL.0267 (63) 1528 FAX.0267 (63) 1539 ymtec@abelia.ocn.ne.jp
中信支部	(株)アスカエンジニア 下條 広行	〒397-0001 木曾郡木曾町福島2637-1	TEL.0264 (23) 2695 FAX.0264 (24) 2695 asukae@plum.ocn.ne.jp
	(株)アズミエンジニア 吉竹 行仁 (副会長)	〒398-0002 大町市大町3276-1	TEL.0261 (22) 4575 FAX.0261 (22) 0698 info@aen.co.jp
	(株)あづみ野開発コンサル 赤羽 明彦	〒399-8205 安曇野市豊科2568-1	TEL.0263 (72) 7217 FAX.0263 (73) 0501 info@akconsul.com
	(株)アンドー 坪井 利幸 (理事兼支部長)	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263 (48) 0480 FAX.0263 (48) 0009 andoh@kkandoh.co.jp
	(株)奥原調査設計 奥原 広明	〒397-0002 木曾郡木曾町新開2662-1	TEL.0264 (23) 2433 FAX.0264 (24) 2780 kokuhara@fancy.ocn.ne.jp
	(有)金井測量設計事務所 金井 治夫 (副支部長)	〒399-7402 松本市会田706-1	TEL.0263 (64) 2073 FAX.0263 (64) 4079 kanaissj@dh.mbn.or.jp
	(株)けいかく 太田 大三	〒390-0316 松本市原84-2	TEL.0263 (46) 5225 FAX.0263 (46) 5154 kei@po.mcci.or.jp
	(株)山光測舎 白澤 一清	〒398-0003 大町市社6268-1	TEL.0261 (22) 9851 FAX.0261 (23) 3577 sanko@lily.ocn.ne.jp
大成測量設計(株) 下里 守 (副支部長)	〒399-8301 安曇野市穂高7602-3	TEL.0263 (50) 8601 FAX.0263 (50) 8602 v-taisei@mx2.avis.ne.jp	

支部	会員名 (代表者名)	所在地	電話番号 / FAX E-mail
17社	(株)中央工研 矢ヶ崎 恒夫	〒390-0852 松本市大字島立978-1	TEL.0263 (47) 8631 FAX.0263 (47) 8632 kikaku@ccer.co.jp
	中部測量(株) 上水 茂子 (技術副委員長)	〒390-1701 松本市梓川後3085-1	TEL.0263 (78) 5522 FAX.0263 (78) 5533 chubu-ar@mx1.avis.ne.jp
	(株)中部日本測量社 蒲生 三智子	〒390-0221 松本市大字里山辺1823-4	TEL.0263 (32) 7320 FAX.0263 (32) 7229 kk.tns@vega.ocn.ne.jp
	(株)長野技研 中嶋 孝満 (寺澤 慶一) (危機管理委員)	〒390-1241 松本市大字新村2326	TEL.0263 (47) 7677 FAX.0263 (47) 6503 soumu@naganogiken.co.jp
	(株)日研コンサル 谷本 直樹 (総務広報委員)	〒390-0841 松本市渚2-5-6	TEL.0263 (26) 6470 FAX.0263 (27) 2614 info@nikkenc.co.jp
	深志測量(株) 横山 敏雪	〒390-0852 松本市大字島立1080-7	TEL.0263 (47) 6501 FAX.0263 (47) 4742 soumu@fukashi-survey.jp
	(株)マイク口 後澤 伸之	〒390-0851 松本市島内3481-1	TEL.0263 (48) 0339 FAX.0263 (48) 0439 gozawa@kkmicro.co.jp
(株)ミズホエンジニア 中村 功	〒399-8304 安曇野市穂高柏原1019-1	TEL.0263 (82) 8458 FAX.0263 (82) 4186 mizuho-eng@mzh-eng.co.jp	
南信支部 (24社)	(株)アルプス 名取 洋史 (副支部長)	〒394-0031 岡谷市田中町1-4-26	TEL.0266 (22) 5514 FAX.0266 (22) 5524 alps@cocoa.plala.or.jp
	(株)飯田コンサルタント 下平 勝史	〒395-0822 飯田市松尾寺所7343	TEL.0265 (22) 0100 FAX.0265 (22) 0541 daihyo@iicon.co.jp
	(有)井戸測量 大平 俊家	〒395-0004 飯田市上郷黒田5843	TEL.0265 (23) 5793 FAX.0265 (22) 4555 idosokuryou@sunny.ocn.ne.jp
	(株)伊那測量 守屋 美喜男	〒396-0022 伊那市御園1298-2	TEL.0265 (72) 3966 FAX.0265 (72) 4105 i7so9@rose.ocn.ne.jp
	栄和測量(株) 矢澤 久実	〒395-0801 飯田市鼎中平2887-1	TEL.0265 (24) 1079 FAX.0265 (24) 1078 eiwa1@crocus.ocn.ne.jp
	(株)長姫 森脇 慎一郎 (危機管理副委員長)	〒395-0154 飯田市下殿岡206	TEL.0265 (25) 8855 FAX.0265 (25) 8860 soumu@kc-osahime.co.jp
	長姫調査設計(株) 藤澤 亘	〒395-0071 飯田市今宮町4-20	TEL.0265 (23) 3666 FAX.0265 (23) 3680 o-c-s@giga.ocn.ne.jp
	技建開発(株) 武井 清彦	〒395-0151 飯田市北方1313-2	TEL.0265 (22) 9585 FAX.0265 (22) 8320 eigyobu@gkc.co.jp
	(株)北国コンサル 北原 正人	〒399-4431 伊那市西春近9099	TEL.0265 (72) 6458 FAX.0265 (72) 6499 rep@kitakuni.co.jp
	(株)北測 北原 勝美	〒399-4431 伊那市西春近下島2875-3	TEL.0265 (72) 3704 FAX.0265 (72) 3746 kitasoku@cocoa.ocn.ne.jp
	(株)協同コンサル 中村 知貴	〒393-0047 諏訪郡下諏訪町西赤砂4348-9	TEL.0266 (27) 7111 FAX.0266 (27) 7138 mail@kyoucon.co.jp
	(株)計測エンジニアリング 関 稔	〒399-2565 飯田市桐林1737-3	TEL.0265 (26) 3012 FAX.0265 (26) 8831 info@keisokueng.jp
	(株)コバコン 小林 佳人 (総務広報委員)	〒399-2431 飯田市川路7527	TEL.0265 (27) 5250 FAX.0265 (27) 5220 kobayashi@kobacon.co.jp
	(株)ジッソク 溝口 豊 (技術委員)	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1378-2	TEL.0265 (82) 2328 FAX.0265 (82) 5052 mizoguchi@jissoku.jp
	(株)ゼンシン 境澤 昌志	〒399-4115 駒ヶ根市上穂栄町13-7	TEL.0265 (83) 4865 FAX.0265 (83) 9728 tanaka@k-zensin.co.jp
	(株)中部測地研究所 藤森 雄一	〒392-0131 諏訪市湖南801-1	TEL.0266 (58) 0304 FAX.0266 (58) 9515 info@chubusokuchi-lab.co.jp
	(株)藤測 松村 忠次 (副支部長)	〒395-0806 飯田市鼎上山4040-1	TEL.0265 (23) 1522 FAX.0265 (23) 4810 t_sk@tohsoku.co.jp
	(株)ナカタ 唐木 暢彦	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂16705-9	TEL.0265 (85) 4517 FAX.0265 (85) 4518 contact@nakatass.com
	馬場測量設計(株) 馬場 規生 (副支部長)	〒396-0014 伊那市狐島4012	TEL.0265 (78) 8111 FAX.0265 (78) 8112 babasoku@inacatv.ne.jp
	(有)吉川測量設計事務所 廣瀬 大介	〒395-0046 飯田市扇町17	TEL.0265 (53) 4808 FAX.0265 (53) 4809 ykss@tbz.t-com.ne.jp
	(株)理財 佐々木 宣久	〒396-0012 伊那市上新田2557-1	TEL.0265 (72) 1126 FAX.0265 (78) 0434 rizai@aurora.ocn.ne.jp
	(株)緑地計画 福澤 浩 (理事兼支部長兼技術委員)	〒399-4117 駒ヶ根市赤穂14616-67	TEL.0265 (83) 7744 FAX.0265 (83) 7745 info@land-lab.co.jp
	(株)嶺水 小山 忠孝 (副会長)	〒395-0003 飯田市上郷別府182-1	TEL.0265 (23) 3000 FAX.0265 (22) 6546 gis@reisui.co.jp
	(株)ワイド 加納 一憲	〒396-0026 伊那市西町5845-1	TEL.0265 (78) 7533 FAX.0265 (78) 6742 wide@cc-wide.co.jp
賛助会員 (6社)	(株)いとう 高村 和則	〒381-0024 長野市南長池498-1	TEL.026 (221) 4101 FAX.026 (221) 5313 webmaster@itoh.co.jp
	カシヨ(株) 奥山 哲	〒381-0037 長野市西和田1-27-9	TEL.026 (251) 0510 FAX.026 (251) 0500 kashiyo@kashiyo.co.jp
	(株)シー・ティー・エス 横島 泰蔵	〒386-0005 上田市古里115	TEL.0268 (26) 3700 FAX.0268 (26) 2102 kurumi@cts-h.co.jp
	(有)プラス・ワン 西山 求男	〒381-2233 長野市川中島町上水鉤1574-1	TEL.026 (284) 7442 FAX.026 (284) 7461 info@plus1-n.com
	(株)ちとせ保険事務所 小澤 洋二	〒380-0921 長野市栗田182-1 MKビル2F-C	TEL.026 (224) 1585 FAX.026 (224) 1610 info@chitose-hoken.com
(株)高見澤 高見澤 秀成	〒381-0211 上高井郡小布施町雁田1262-13	TEL.026 (247) 5711 FAX.026 (247) 5066 y.saitoh@kk-takamisawa.co.jp	

TOPICS & 編集後記

目覚ましく進化する測量技術と未来。

新しい測量技術は、地理情報システム（GIS）、ドローン、衛星技術、LiDAR（Light Detection and Ranging）などの進歩により急速に進化しています。これらの技術の進歩が、さまざまな分野で測量や地図作成のプロセスを変革しています。

将来的には、これらの技術がさらに発展し、より高度で効率的な測量手法が開発されるとし、特に、デジタルツイン（Digital Twin）技術の進化により、物理的な環境や建築物をデジタル上でリアルタイムにモデリングし、効果的な管理や予測が可能になると考えられています。

さらには、バックパッカー測量というとんでもない機器も開発されました。簡便かつ柔軟な方法で地理的なデータを収集する手段として重要性を増していて、今後の主要な測量手法になるとも言われています。

これまでの技術の進歩と共に、バックパッカーは、

1. モバイルアプリケーションとスマートフォン技術

スマートフォンの普及とGPS技術の向上により、バックパッカーは専用の機材を持たずに、スマートフォンを使用して位置情報を収集できるようになりました。モバイルアプリケーションは、地図の作成、ポイントの記録、写真の取得などを支援し、データの即時収集が可能です。

2. オープンソースの地理情報ツール

オープンソースのGIS（地理情報システム）ツールやデータベースが利用可能であり、これにより、バックパッカーは低コストで高品質な地理データを処理できるようになります。QGISやOpenStreetMapなどのプロジェクトが広く使われています。

3. ドローン技術の利用

ドローンは、バックパッカーが到達困難な地域や大規模な領域で高解像度のデータを収集する手段として利用されます。軽量かつ携帯可能なドローンが普及することで、フィールドでの調査がより効率的に行えるようになります。

4. 人工知能と機械学習

データの解析や分類において人工知能や機械学習が活用され、バックパッカーが収集したデータから有益な情報を抽出するのに役立ちます。これにより、より高度な分析や予測が可能になります。

5. 環境モニタリングと持続可能な開発

バックパッカー測量は、環境モニタリングや持続可能な開発の支援にも活用されています。気候変動や生態系の変化など、環境に関するデータ収集が重要視されています。

このように、バックパッカーも既に測量のジャンルを超え、様々な技術やビックデータ、AIと融合し、世界と繋がりがどんどん深化しています。当然、測量というジャンルだけでなく、あらゆる分野も同じです。我々は、測量の囲いの中にいるだけでは済まない時代の中にあるんだということを考え、キャッチフレーズの「未来を創造する測量設計」業に取り組んでいかなければならないと強く感じました。

総務広報委員会



一般社団法人 長野県測量設計業協会

〒380-0838 長野市南長野県町484-1 (センターポア702)
 TEL.026-233-5078 FAX.026-233-5089
<http://chosokkyo.planet.bindcloud.jp>
 E-mail : chosokyo@seagreen.ocn.ne.jp

